



高山城イメージCG (写真提供/高山市教育委員会)

等国内外で発生した自然災害により被害を受けられた方々の様子を心を痛めることが多くありました。心からのお見舞いを申し上げます。幸いなことに当市では大きな災害はありませんでしたが、地域経済を取り巻く状況は益々厳しく、特に人出不足が顕著で今後人材をどう確保するか、私たち観光業にとっても引き続き大きな課題となっております。また、外国人観光客の増加や域外資本のホテル、新しい飲食店、ゲストハウス等の進出が相次ぎ、町なかには賑わいながらも人材不足と合わせて若者の市外流失等が続く今後の地域経済全体の発展に不安が残るところです。また、従業員の働き方改革にも焦点を当てしっかりと対応を行わなければなりません。

国では、地域の課題を解決する政策の一つとして、民間の力による活性化を目指した「観光地域づくり法人(DMO)登録制度」を積極的に進めています。当協会も平成28年にこの登録を、昨年には「先駆的DMO」の選定を受け、国、県、市等からDMOに対し様々な政策の提案等が示されておりあります。その中で高山市は令和6年4月に「観光を活用した持続可能な地域づくり」方針を決定されました。当協会は、DMOとしてこの方針の実現を図り「飛騨高山観光」発展の役割を果たすため、その指針となる「観光ビジョン2025(2029)」を策定しました。「観光ビジョン」では、「かけがえのないこの日常が私たちの宝もの」をコアバリュー(中核となる価値観)として定義し、市民、来訪者が「住んでよし、訪れてよし」を実感できる地域を目指し、引き続き高山市との連携を図り官民一体となって地域活性化事業、誘客事業、情報発信事業等各種事業を推進し

新年のご挨拶

一般社団法人 飛騨・高山観光コンベンション協会

会長 堀 泰則

ていきます。

一方、高山市を取巻く道路整備「中部縦貫自動車道」の工事は、順調に進み、特に福井県側の早期の全線開通が待たれるところであります。福井県側の観光施設(永平寺、恐竜博物館等)が身近なものとなり、北陸新幹線の敦賀までの延伸と相まって新しい飛騨高山を起点(ハブ)とする観光ルートの構築、また、木曽路を結ぶ国道361号線の整備等にも期待が寄せられます。今年も、飛騨高山をハブとする観光ルートの構築及び充実、また、国が進める中部山岳国立公園の山岳と麓の資源を活かして松本高山間を世界水準の観光圏として磨き上げを図るプロジェクト「松本高山Big Bridge構想」の実現に向け力を入れてまいります。

このように当協会が、成長が見込まれるインバウンド需要等を取り込みDMOとして観光まちづくりを担い、マーケティングや受入れ態勢整備等を行い「持続可能な地域づくり」を実現していくためには、一定の財源が必要です。要望していた新しい税制度「宿泊税」が導入された事を踏まえ、高山市、関係団体等との連携を強化し、この財源を基にその実現を図って行きたいと思っております。今後当協会に寄せられる期待は、今まで以上に大きく、地域活性化に寄与すべき役割を引き続き果し、高山市の発展、若者が生き生きと暮らせるまちづくりのため努力をしていかなければなりません。本年も皆様のご協力、お力添えをお願いするとともに皆様やご家族様にとって更に良き年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

今年から会報のタイトルを新たに「市民が誇れる観光地として、未来に向かって歩み続ける」という決意を込め「観光と未来」としました。

●観光地域づくり法人(DMO)の体制整備

【観光ビジョンの策定】

観光戦略の土台となる「飛騨高山 観光ビジョン 2025～2029」を策定しました。「かけがえのないこの日常が、わたしたちの宝物」を高山のコアバリューと定義し、市民と来訪者の双方が「住んでよし、訪れてよし」を実感できる地域を目指します。

この観光ビジョンは当協会だけでなく多様なステークホルダー(利害関係者)とともに「観光ビジョンを実現するための新たな財源を検討するプロジェクトチーム」を設置し、令和5年から議論を重ねて策定までたどり着きました。

今後は、この観光ビジョンを市民の皆様に分かりやすくお伝えしていくとともにより具体的な事業を実施していきます。

【宿泊税の導入】

高山市では、令和7年10月1日より宿泊税を導入しました。これは国際観光都市としての強みを活かし、持続可能な地域づくりを推進していくためでもあります。

当協会は高山市と連携して、様々な取り組みを開始しています。宿泊税は地域の観光振興や市民生活と観光との調和など、次の5つの取組に充てる財源とされます。①観光資源の磨き上げや地域特性を活かした観光の振興 ②自然環境の保全・活用や生活環境の向上 ③歴史、伝統文化の保全・継承 ④災害時などにおける危機管理体制の強化 ⑤観光を活用

した持続可能な地域づくりを支える体制支援
宿泊事業者の皆様におかれましては、旅行者からの徴収手続きにご協力いただき、誠にありがとうございます。
※宿泊税の制度については、高山市役所税務課までお問い合わせください。

宿泊税はこんな事に活用されます

観光資源の磨き上げや地域特性を活かした観光の振興 Improving tourism infrastructure 관광 진흥 사업 観光振興事業 観光振興事業	自然環境の保全・活用や生活環境の向上 Conserving and improving the environment 환경 보전 사업 環境保全事業 環境保全事業
歴史、伝統文化の保全・継承 Maintaining cultural heritage 문화 진흥 사업 文化振興事業 文化振興事業	災害時などにおける危機管理体制の強化 Improving crisis management preparedness 위기 관리 사업 危機管理事業 危機管理事業
観光を活用した持続可能な地域づくりを支える体制支援 Improving tourism management system 조직 운영 사업/組織運営事業/組織運営事業	

納付方法 How the tax is collected / 납부 방법 / 納付方式 / 納付方式

宿泊施設の支払い方法に合わせて宿泊施設等へ納付してください。
The tax will be charged as part of your accommodation payment.

宿泊料(1泊)	税額	宿泊料(1泊)	税額
10,000円未満	100円	100,000円以上	1,000円
10,000円以上	200円	100,000円以上	1,000円
20,000円以上	300円	100,000円以上	1,000円
30,000円以上	400円	100,000円以上	1,000円
40,000円以上	500円	100,000円以上	1,000円
50,000円以上	600円	100,000円以上	1,000円
60,000円以上	700円	100,000円以上	1,000円
70,000円以上	800円	100,000円以上	1,000円
80,000円以上	900円	100,000円以上	1,000円
90,000円以上	1,000円	100,000円以上	1,000円

お問い合わせはこちら
●宿泊税の制度に関すること 高山市財務部税務課
TEL:0577-35-3136 FAX:0577-35-3163 Email:zeimu@city.takayama.lg.jp
●宿泊税の使い道に関すること 高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課
TEL:0577-35-3145 FAX:0577-35-3167 Email:kankou@city.takayama.lg.jp

【先駆的DMOへの選定】

先駆的DMOとは、持続可能で国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを行う「世界的なDMO」を目指すDMOに対し、観光庁が戦略的に支援を実施する仕組みです。飛騨高山としてこれまで積み上げてきた観光施策の歴史と、近年の観光地マネジメントの取り組みが評価された結果、令和7年10月16日付けで当協会は先駆的DMOに選定されました。

今回は全国334のうち、箱根町・長崎市などのDMO7法人(当協会を含む)が選ばれています。今後は、地域全体の活性化等の取組を高水準で満たす「世界的なDMO」を目指し、観光庁からの支援を受けながら、観光地域づくりに取り組んでいきます。

●マナー啓発、市民の声や観光データの収集と分析

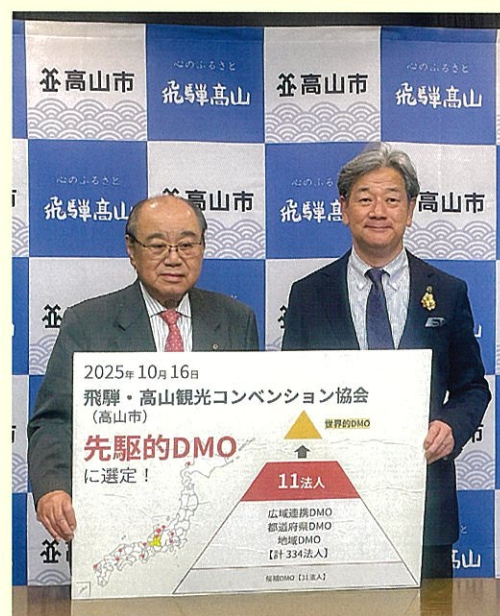
「市民アンケート調査」

現在、8月に高山市と連携して行った市民アンケートの分析を進めています。この市民アンケートは、観光課題はなにか、課題が急増しているエリアはあるか、市民が特に不安を感じるテーマはなにかなど、観光振興によって増えている市民生活への負荷を把握し、よりの確な対策へ繋げていくことを目的として実施しました。

アンケートではポジティブなご意見も多くいただいております。観光客が来訪することによって経済的な恩恵を受けていることや、観光を通じて地域への誇り(シビックプライド)が高まっていることが分かっています。

アンケートの分析結果は、本年度内に市民・事業者の方向けに報告する予定です。

※令和7年度岐阜県観光振興事業費補助金を活用



【マナー啓発】

高山を訪れる多くの来訪者が遠い国や地域から時間と費用をかけています。その一方で海外の文化・風習の違いから、市民生活に負荷がかかっていることも事実です。そこで、今年3月から「With Respect」というメッセージを4言語で載せたポスターを市内に掲出し、高山市の生活・文化に「敬意を持って」旅をしてもらえるように高山市と共に啓発活動を始めました。現在は、来訪者へ伝えるべきメッセージをより洗練させ、周知を徹底していく取り組みを進めています。

with Respect

Care for Locals, Environment, and Tradition

Walk Mindfully
Be considerate and make space for others.

Carry Your Trash
Help keep this area clean by taking it with you.

Stay Quiet
Keep noise down for neighbors after dark.

以敬相待
尊重當地居民・環境與傳統

注意行人・避讓車道・讓路通行秩序・
帶走垃圾 為了保持當地清潔・請將垃圾帶回原處處理・
保持安靜 尤其夜間・降低音量・避免打擾附近居民・

배려해주세요
지역주민과 환경, 전통을 존중해주세요

이동 시에는 주의를 살피주세요. 동행에 걸림을 피해주시길 양도해 주시길 부탁드립니다.
쓰레기는 꼭 가져가주세요. 지역 정감을 위해 알맞은 쓰레기는 다시 가져가주세요.
목소리를 낮춰주세요. 거주민을 위해 늦은 시간에는 소음 발생에 더욱 유의해주세요.

以礼相待
尊重居民和传统, 爱护环境

小心行走 为行人着想, 留出空间, 沿途走垃圾, 保持环境, 保持清洁, 晚上保持安静以免打扰居民.

City of Takayama

【旅行者向けアンケート調査】

今年の夏から冬にかけて日本人・外国人それぞれの来訪者に対してアンケート調査を進めています。調査については地域通訳案内士の他、地元高校生たちにもご協力いただきました。外国人の回答の中には「地元の高校生たちとのコミュニケーションも貴重な機会だった」という嬉しいお声もありました。

地域にとって重要な活動に地元の若者たちに関わってもらうことは、地域の誇り（シビックプライド）の醸成に繋がり、観光教育の一環であると考えられています。こちらも、集計、分析結果が整いましたら報告する予定です。

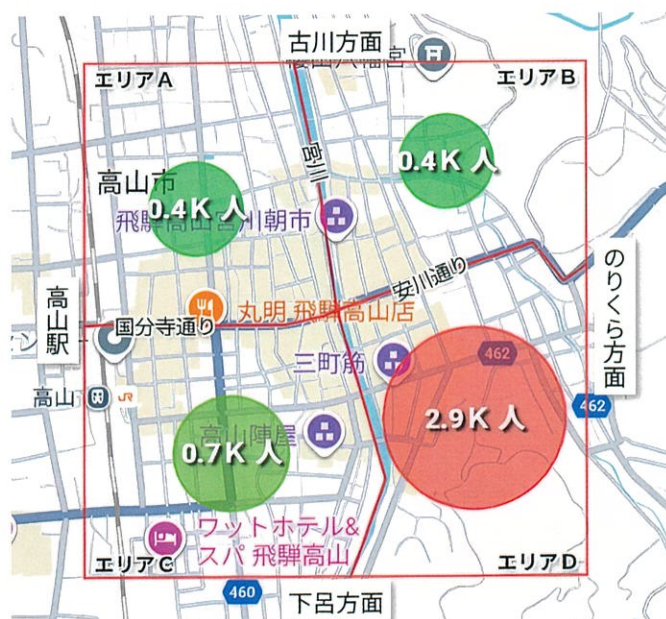
※令和7年度 岐阜県観光振興事業費補助金を活用



【各種データカメラを用いたAI人流予測】

「将来予測」の実現を目的として、市内に設置してあるカメラからの人流データ、宿泊施設の宿泊予約データ等を収集し、AIを活用して独自の人流予測システムを構築する実証実験を実施しています。どのタイミングで、どのエリアにどれくらいの来訪者が来るかを予測することで、飲食店や宿泊施設は、スタッフの配置や食材仕入れなどをより無駄なく計画することが出来ます。

実証実験でご利用いただいている飲食店からもボジティブなご意見が出ており、今後はシステムの精度を高め本格的な導入を進めていきたいと考えております。



※令和7年度 観光庁観光DX推進による地域活性化モデル実証事業（オープンデータ推進モデル）を活用

●支所地域との連携強化

日本一の面積を誇る高山市では市街地、特に古い町並への観光客が集中しており、地域分散の対策を考えていく必要があります。

高山市は様々な魅力のある地域で構成されており最近では地域おこし協力隊を受け入れ積極的な活動を進めているエリアも増えてきました。令和7年度からは、当協会と飛騨乗鞍・清見・庄川・一之宮・久々野・朝日・高根・国府・奥飛騨温泉郷の各観光協会との連携を深め、より効果的な観光客の分散、周遊を実現できるよう各種事業に取り組んでいます。

【連携強化】

夏から秋にかけて各観光協会を訪問しての意見交換、メール・電話等でのやり取りや情報共有の他、「飛騨高山観光地域連携委員会」を新たに設立し、定期的な会議を開催しました。合同での誘客キャンペーンの検討、宿泊税の活用アイデアなどについて議論や情報交換を進めています。



【地域プロモーション】

これまでの「じゃらん」のふるさと特集ページを活用したプロモーションでは中心市街地の定番をお伝えすることがほとんどでしたが、今回は支所地域にフォーカスし、それぞれの観光協会から地域の一手しのスポットをご紹介します。「じゃらん」の利用者並びに高山市への訪問者にはリピーターが多く存在するため、2回目、3回目の訪問ではこれまでとは違った魅力を発見していただけるような仕組みづくりとなります。また、飛騨高山観光公式ホームページ「飛騨高山旅ガイド」においても、支所地域情報の拡充を進めています。

各エリアの紹介へ



【各支所地域の事業紹介】

令和7年度、各観光協会が進めている取り組みから一部をピックアップしてご紹介します。なお、これらの事業は地域振興及び年間を通じた観光客誘致促進を図るための高山市の補助金を活用して実施されています。

（飛騨乗鞍観光協会）

・ウェブサイトリニユール事業など

（一社）ひだ清見観光協会

・ブランドイメージ構築、体験プログラム事業

（莊川観光協会）

・莊川ラン&ウォーク事業

（飛騨一之宮観光協会）

・移動式観光案内所製作・購入事業

（ひだ桃源郷くぐりの観光協会）

・あららぎ湖面活用、町内観光にぎわい作り事業

（飛騨あさひ観光協会）

・Eバイクツアー造成、よもぎクッキング体験事業など

（飛騨高根観光協会）

・日和田地域石仏ガイドブックの改訂・増刷事業
（こくふ観光協会）

・桜野公園ライトアップ、てんこもりツアー事業

（一社）奥飛騨温泉郷観光協会

・ウェブサイトリニユール、パンフレット製作事業



【松本・高山ビッグブリッジ構想推進事業】

中部山岳国立公園の資源を活かして世界水準のデザインネーションの実現を目指すとともに、地域の持続可能な発展の確保に資する取組を促進するための助成金を活用して実施されています。

・乗鞍ライチョウルルートデジタルスタンプラリーバスツアー事業、中部山岳国立公園南部地域観光展事業

・乗鞍岳ポスター、リーフレット印刷事業・乗鞍岳需要動向調査

など

●多様な食習慣に対応した受入環境整備

ここ最近、当地に訪れる外国人観光客の傾向として、1泊2食付ではなく朝食のみまたは素泊まりを選んだり、ゲストハウスや一棟貸しの宿に泊まりたりして、街での夕食を楽しむ方が増えてきています。その結果、市内飲食店の混雑が増し、いわゆる「夕食難民」の懸念も高まっています。また、当地は欧米豪・東南アジア・中東と幅広い国・地域の方が訪れるという特徴から、ハラル・ヴィーガン等の多様な食習慣を持つ方々の受入環境づくりの必要性にも迫られています。

そこで当協会では、飛騨高山フードバリアフリー協議会と連携して大きく2つの事業を本年度、実施しています。

【1 飲食店向け支援】

昨年度、当協会と高山市が連携して行った飲食店調査を通じて、情報発信や多様な食習慣への対応に対する課題が浮かび上がりました。そこで、①飛騨地域における「食」の環境向上セミナーの開催②



グーグル・ビジネス・プロフィール（G B P）の設定及び活用への伴走支援を実施しました。②については、グーグルマップを通じて食事を選ぶ旅行者が9割を超えられている中で、名古屋大学と連携をして、より効果的なG B Pの活用方法を研究して、そのノウハウを飲食店へ共有するという取り組みです。

【2 市内スーパと連携した

ヴィーガン弁当開発&販売

地元のスーパーマーケット3社(株式会社駿河屋
魚一、株式会社ファミリアストアさとう、株式
会社未来堂高山)と連携し、10月28日から彩り
鮮やかなヴィーガン弁当の販売を始めました。

最近では飲食店だけではなく、スーパーマーケットも外国人旅行者で溢れるようになってきていることから、スーパーにおける新しい食の取り組みの可能性（商品開発、面的な情報発信など）を検討。最終的に、地域に根付く3社が連携し各社が独自のヴィーガン弁当を開発、共同でプロモーションするという動きに繋がりました。

ヴィーガン弁当は外国人観光客を対象としているが、ヘルシーなお弁当を求めている市民にも好評を博しています。このような観光の取り組みから「食の選択肢」が増えることで市民の食環境にも豊かさをもたらしていることは、一つの理想的な動きであると考えられます。



●台北国際旅行博に出展

飛騨高山国際誘客協議会（市、観光協会、ホテル、観光関連団体、金融機関などで構成）として、11月7日～10日の4日間、台湾（台北市）で開催された「台北国際旅行博」に出展し、約36万5千人を超える来場者で賑わいました。



● ツーリズムEXPOジャパン2025
に出展

また、旅行博に先駆けて、台北市内の旅行社12社を民間事業者と訪問し、宿泊や食事料金など詳細にわたる情報を提供し商談を行いました。会場での出展ブースでは、高山市及び飛驒地域の自然、温泉、季節の見どころのほか、食や匠の技など、多くの台湾の方々に魅力を紹介しました。

9月25日(木)～28日(日)
に愛知県国際展示場で開催
された世界最大級の旅の
祭典「ツーリズムEXPO
ジャパン2025愛知・中
部北陸」に出展し、約12万
人を超える来場者がありま
した。

ブースでは、北陸・飛騨・



信州3つ星街道誘客推進協議会（高山市、金沢市、南砺市、松本市、白川村の行政や観光協会などで構成）として各地域の見どころ紹介や地酒の試飲会などを行ったほか、高山市の体験コーナーではくみひもづくりを行っていただきました。また、商談会では、16団体の旅行会社等に飛騨高山の新しい観光スポットや最新の道路アクセス情報、コンベンション開催支援情報などの提案を行いました。

●わくわく体験！飛騨高山の実施

旅行ニーズ（トキ消費・コト消費）や滞在時間延長のための新たな観光コンテンツとして、体験プログラ



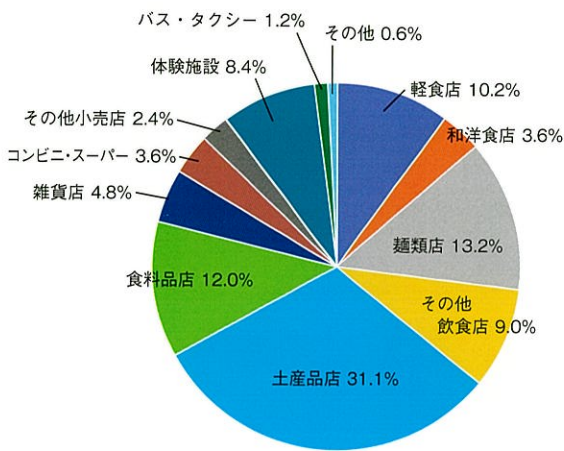
ムの造成・事業者の支援による醸成を図り、魅力的な地域づくりを進めるため、国内利用率No.1のオンライン体験予約サイトで、国内認知度が高い「じやらん 遊び・体験」を活用し、オンラインクーポンを発行しています。主な体験プログラムメニューは、郷土料理づくり、陶芸、食品サンプル作り、さるば作り、組紐づくり、版画などです。

●飛騨高山教育旅行クーポンの配布

市内散策・回遊による観光施設、飲食店、土産品店等の利用促進を図り、市内消費喚起と若年層の飛騨高山ファンの拡大に繋げるため全国の小中学校、

高等学校、特別支援学校などが、高山市内で宿泊を伴う教育旅行に対して、児童生徒及び引率する教職員に対し、一人当たり千円分のクーポンを配布し、クーポン利用店として事前に登録された168店舗の観光施設、飲食店、土産品店などで広く利用されています。

クーポン利用店割合



区分	人数	件数	件数割合
小学校	441	6	7.9%
中学校	9,789	66	86.8%
高等学校	801	3	3.9%
特別支援学校など	16	1	1.4%
合計	11,047	76	100.0%

方面	人数	件数	件数割合
県内	1,350	14	18.4%
東海	3,188	21	27.6%
関東	1,812	12	15.8%
関西	4,697	29	38.2%
その他	0	0	0%
合計	11,047	76	100.0%

(平成7年12月1日受付分)

●コンベンション支援事業

飛騨地域に国際的・全国的な会議・大会・学会等やスポーツ大会を誘致し、地域経済の活性化を図るため、コンベンションの誘致活動を実施しています。高山市における開催支援（予定含む）件数は、12月現在で、国内の会議・学会等が25件、スポーツ大会が30件で、合計55件です。昨年の同時期と比較すると15件増えています。今後、スキー大会なども開催されるため、主催者団体の支援を進めていきます。



また、令和8年度は、700人規模のドッジボール大会や400人規模の情報処理学会や医学会等のほか、600人規模の全国へき地教育研究大会や国際会議などの7件の開催が決定しています。今後も積極的にコンベンション誘致に取り組んでいきます。

誘致事業では、10月にコンベンション等を専門的かつ総合的に運営など行う業者（PCO）2社（東京、名古屋）を訪問し、主催者団体の要望や地方開催の課題などを伺ってきました。

会議等では、11月に名古屋市中で開催された「令和7年度中部コンベンション連絡協議会（岐阜県、愛知県、三重県、静岡県、長野県、石川県、新潟県内にあるMICE誘致団体で構成）」では同業事業者と



MICE (マイス) とは、Meeting (企業会議・研修)、Incentive Travel (報奨・研修旅行)、Convention (会議・学会議)、Exhibition または Event (展示会・見本市) の頭4文字から成る造語で、産官学の各組織がビジネスや学問的なテーマのもとに開催するビジネスイベントの総称です。

の意見交換会のほか、大阪市で開催された関西エリアでは大型規模の「Japan MICE EXPO 2025」にブース出展し、会期中、多くのMICE関係事業者が来場され、事前申し込みしたマツチング会場での商談会や、飛騨高山ブースではコンベンション施設や開催支援制度の情報提供のほか飛騨地域の四季折々の観光の魅力を紹介しました。また、今年2月に東京都で開催される国内最大級のMICE誘致商談会の「第35回国際MICEエキスポ (IME2026)」にも出展し商談会に参加する予定です。

【魅力ある歴史的情景】

上品上質の町並みを楽しむ

歴史学芸アドバイザー 田中 彰

ニュースで飛騨高山が紹介される時、必ずと言っていいほど上三之町の古い町並みが映る。江戸時代の雰囲気が出て観光客に根強い人気があり、混雑する様子が紹介される。この町並みはどのようにしてできたのだろうか。

戦国武将の金森長近は、飛騨へ入国後の天正14年(1586)から高山城下町作りを始め、御殿風の高山城を16年かけて完成させている。日本で5本の指に入る名城と言われた。城は武家屋敷で取り囲まれ、東側の山麓には禅宗を中心とした寺院群を配置している。そして一段低い宮川沿いの平地に3筋の町人地を形成、城に近い方から一、二、三番町とした。

しかし、6代続いた金森氏は山形県上山に国替えとなり、幕府直轄地(天領)時代が始まる。城と武家屋敷は取り壊されたが、東山寺院群と町人地はそのまま残った。町人地は明治になってもそのまま温存されて昭和40年前後からの高山の町並み評価へと時代は動いてゆく。

その頃、文化庁では、商人町や農村集落、港町などの建物を、群として保存する文化財制度を昭和40年代に始めた。高山市でも町並み調査が始まり、昭和54年には、上二之町、上三之町他が国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された。以後各家の修理を開始、上品上質の町並みが復元整備されてゆく。当初の町並み保存は道路に面する建物の保存が中心であったが、裏側にある土蔵を修理して防火帯の

役割を担う事業が始まり、合わせて自衛消防隊用の50ミリ消火栓、自動火災警報設備などの防災対策事業も始めた。

平成13、14年には、安川通の北側地区の町並み調査がなされ、地区民と今後の保存対策、電柱撤去などを協議しながら調査は完了。平成16年、「高山市下二之町大新町伝統的建造物群保存地区」として国の重伝建に選定された。

これにより三町伝建地区の南北通り約420メートルと下二之町大新町伝建地区の通り南北約780メートルが国の文化財として残されてゆくことになったのである。高山城下町の町人地全体が、伝統的な建造物の群として価値が認められたのは将来に向けて意義あることである。

へ建物の特徴

古い建物の屋根の高さは4.5mと低く、軒が揃っていて整然としている。高山の格子は種類が多くて美しい。ベンガラ3に煤1の割合で混ぜたものを塗り、乾いてから荏の油を塗っている。経年により赤っぽいあざき色に変わってゆく。間口は3、4間と狭く、奥に深い。道路に面した部屋は「ミセ(店)」と言いい、内部へは、土足のまま裏まで行くことができ、中庭を経て土蔵に至る。屋根には中ほどの居室への採光のために天窗があり、自然の光の帯が差し込み、朝夕に日差しが動いて心地よい。



屋台が通りやすうにと電柱を撤去
(恵比須台組町並み保存会区域)

イベント情報

〈天候等で日程が変更する場合があります〉

飛騨高山旅ガイド



Facebook



Instagram



X



YouTube



【冬の飛騨高山 ライトアップ】

期 間：令和7年12月1日(月)～
令和8年3月15日(日)
時 間：午後4時30分～午後9時30分
場 所：中橋周辺



【氷点下の森 ライトアップ】

期 間：1月1日(木)～2月28日(土)
時 間：日没～午後9時
場 所：秋神温泉旅館・朝日町胡桃島
(☎ 0577-56-1021)



【飛騨大鍾乳洞 氷の渓谷】

期 間：1月2日(金)～3月10日(火)
時 間：午前9時～午後4時
※2月の毎週土曜日は日没から午後8時まで
ライトアップの演出あり
場 所：丹生川町日面 (☎ 0577-79-2211)



【氷と灯りの祭典2026】

期 間：1月10日(土)～12日(月祝)
時 間：午前9時～午後9時
(11日は午後5時～)
場 所：飛騨・世界生活文化センター
千島町 (☎ 0577-37-6111)



【飛騨の里 冬のライトアップ】

期 間：1月10日(土)～2月28日(土)
時 間：午後5時30分～午後8時30分
入 場 料：大人300円・小人100円
場 所：上岡本町1 (☎ 0577-34-4711)



【飛騨高山雛まつり】

期 間：3月1日(日)～4月3日(金)
場 所：高山市内各所
展示内容：土雛、古今雛、京保雛、まゆびな、
江戸時代の御殿飾り等代々伝わるものや、
愛らしいお雛様が多数展示されます。



【飛騨高山端午の節句】

期 間：5月1日(金)～6月5日(金)
場 所：高山市内各所
展示内容：紙で作られた大きな鯉のぼりや、
さまざまな五月人形などが展示
されます。



【飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり】

期 間：5月29日(金)～6月21日(日)
参加酒蔵：二木酒造、平瀬酒造店、松坂酒造店、
平田酒造場、原田酒造場、老田酒造店
一般販売：3,000円
参加酒蔵で2種類の試飲 特製のエコバック他付

奥飛騨冬物語

〈天候等で日程が
変更する場合があります〉

●平湯温泉

平湯大滝結氷まつり

期 間：2月15日(日)～25日(水)
時 間：午後7時～午後9時
場 所：平湯温泉 平湯大滝周辺



●福地温泉

青だるライトアップ

期 間：令和7年12月24日(木)～
3月下旬
時 間：午後5時～午後10時
場 所：「福地温泉」バス停付近



●新平湯温泉

タルマかねこおり ライトアップ

期 間：令和7年12月28日(日)～
2月28日(土)
時 間：午後5時～午後9時30分
場 所：新平湯温泉
タルマの滝・親水公園一带



●栃尾温泉

洞谷雪桜ライトアップ

期 間：令和7年12月13日(土)～
2月28日(土)
時 間：午後5時～午後11時
場 所：栃尾温泉 洞谷一带



～北アルプスと露天風呂の里

奥飛騨温泉郷は、平湯、福地、新平湯、栃尾、新穂高と趣の異なる
5つの温泉地の総称です。
各温泉地で冬しか味わえない魅力ある体験を楽しんでみてはどうでしょうか。

●新穂高温泉

中尾かまくらまつり

期 間：2月1日(日)～2月10日(火)
時 間：午後8時～午後9時
場 所：新穂高温泉
中尾白山神社境内



●奥飛騨冬物語スタンプラリーⅢ

温泉むすめ×奥飛騨温泉郷 (スタンプラリー)

期 間：令和7年12月26日(金)～2月25日(木)
内 容：温泉郷内のマーカースポットなどを巡りデジタル
スタンプを10ポイント集めると温泉むすめオリジナル
グッズプレゼント



奥飛騨冬物語